

平成 31 年 3 月 13 日
福岡管区気象台

平成 31 年 3 月 12 日に福岡県筑後市で発生した突風について
～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

3月12日23時50分頃、福岡県筑後市鶴田から下妻にかけて発生し、被害をもたらした突風の種類は、ダウンバーストの可能性が高いと判断しました。突風の強さは風速約 35m/s と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF 0 に該当します。

3月12日23時50分頃、福岡県筑後市鶴田から下妻にかけて、パイプハウスの鋼管の変形などの突風による被害が発生しました。

このため3月13日、福岡管区気象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

1. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストの可能性が高いと判断した。
（ダウンバーストの可能性が高いと判断した根拠）

- 突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- 漏斗雲または移動する渦の目撃など、竜巻の発生を示唆する情報は得られなかった。
- 突風は比較的短時間（1～10分程度）であったという証言が複数得られた。
- 突風は強雨を伴っていたという証言が複数得られた。

2. 突風の強さの評定

この突風の強さは風速約 35m/s と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF 0 に該当する。

（根拠）

- パイプハウスの鋼管の変形があった。

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：福岡管区气象台 気象防災部防災調査課
電話 092-725-3614 FAX 092-725-3163